

施 工 要 領 書

フェザーストーンウォール（軽量レンガ貼り仕上げ）と

エコロベースシステムによる

屋上緑化計画工事

ビルマテル株式会社

◎ 工事概要

フェザーストーンウォール（軽量レンガ貼り仕上げ）
エコロベースフィルム
エコロベースマット
エコロベースシート
エコロベースソイル・スーパー

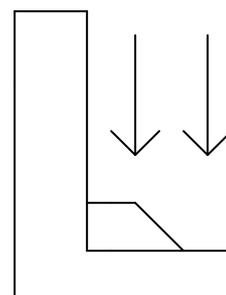
◎ 適要範囲

本書はフェザーストーンウォール（軽量レンガ貼り仕上げ）
《以下略して軽量レンガウォール》及びエコロベースシステム
（エコロベースフィルム、エコロベースマット、エコロベースシート、
エコロベースソイル・スーパー）の設置施工、敷設検査までに対し適要する。

◎ 使用材料

軽量レンガウォール

- 1、L型発泡樹脂（基材）
L型に成型された低倍率の難燃性発泡樹脂
- 2、レンガ（化粧材）
陶磁器質タイル
- 3、レンガ用接着剤
1 液性弾性タイプ、フィルムパック入り
- 4、ジョイント金具
基材の連結用ドブめっき仕上げ金具。ボルト、各座金、ナット



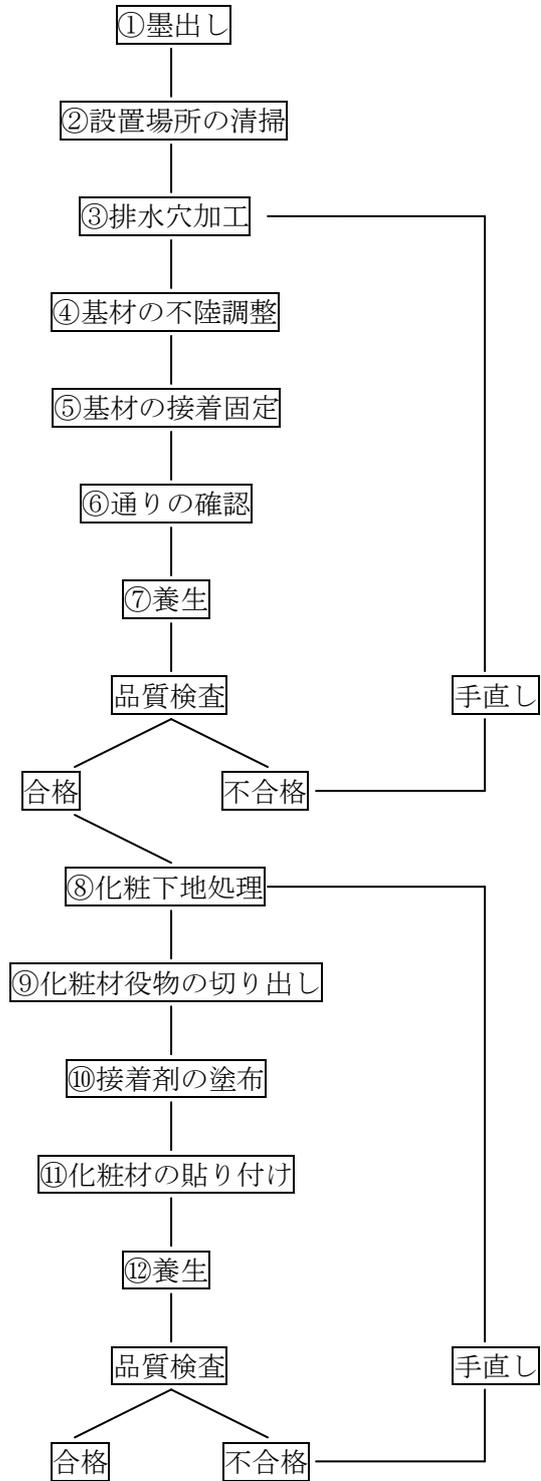
L型発泡樹脂断面図

エコロベースシステム

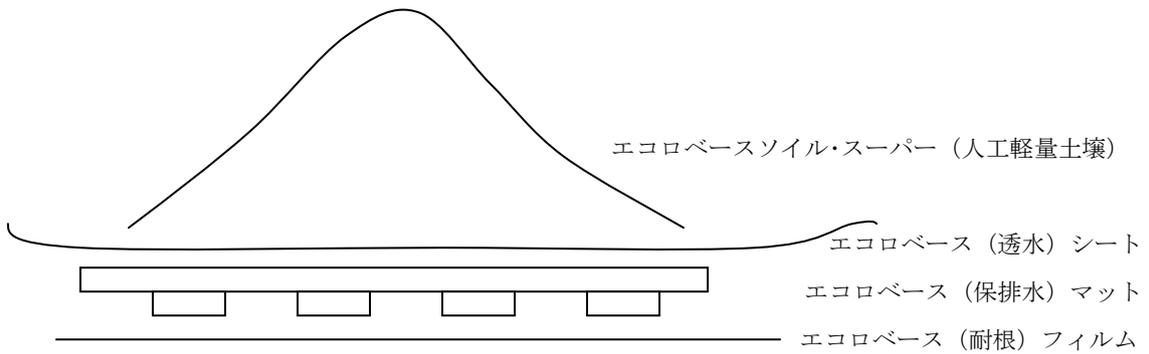
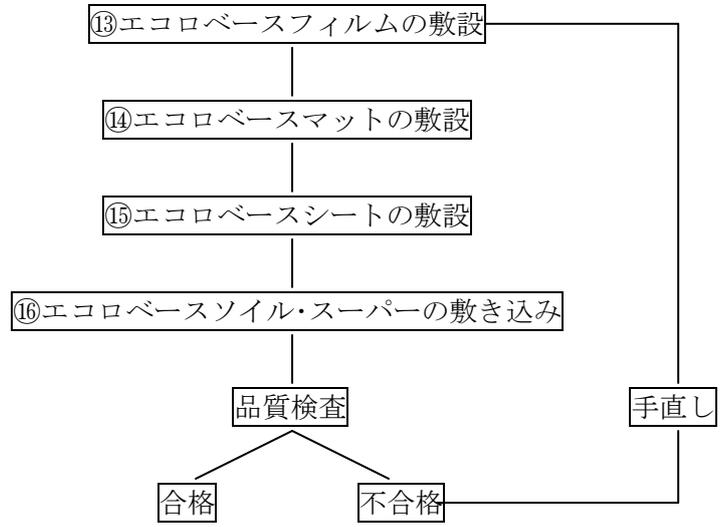
- 1、エコロベースフィルム
ポリエチレン製耐根フィルム。2m×25m／巻
- 2、エコロベースマット
低倍率発泡樹脂製の保水・排水マット。1m×1m×t 25 mm／枚
- 3、エコロベースシート
ポリエステル製透水シート。2m×50m／巻
- 4、エコロベースソイル・スーパー
北海道産火山砂利をベースに100%植物性有機堆肥を混ぜ合わせた人工軽量土壌。1 m³フレコンパック入り湿潤比重 0.89

◎作業フロー

軽量レンガウォール



エコロベースシステム



エコロベースシステム敷設断面図

◎各フロートの説明

軽量レンガウォール

①墨出し

図面を基に設置場所に墨出しをする。

②設置場所の清掃

設置する箇所のほこり、油分、水分をよく取り除いておく。

③排水穴加工

基材の底面中央部には溝が切られており、溝の延長上をカットし貫通穴を設ける。



④基材の不陸調整

墨通りに基材を仮置きし、床面の勾配や凹凸によりがたつきや段差が生じれば底面部分をカットまたは発泡材を下にかまして調整。

⑤基材の接着固定

底面に接着剤（1液性ウレタン系）を塗布し、床面に貼り合わせる。
オスとメスを合わせ、ジョイント金具を締め付け連結固定する。



⑥通りの確認

墨の位置に合っているか、直線が通っているか点検し、
風のある場所では風圧でずれないように重しで固定しておく。



⑦養生

接着剤が硬化するまで、約1日静置させる。

⑧化粧下地処理

基材同士に段差があれば平滑にカットまたは叩いて均す。

⑨化粧材役物のカット

サンダーを用いて軽量レンガをカットする。

⑩接着剤の塗布

専用接着剤を、クシ目ゴテを使い1～1.5ミリ厚で一面に均一に塗布する。



⑪化粧材の貼り付け

軽量レンガを手で軽く押さえつけるように貼り付ける。
一面ごとに目視でまたは水糸を張って通りを合わせる。

⑫養生

接着剤が硬化するまで約1日静置させる。



エコロベースシステム

⑬エコロベースフィルムの敷設

ラップ（重ね）部を20cm以上とり、土壌のライン付近まで立ち上げる。
排水部分には穴を開ける。

⑭エコロベースマットの敷設

柵になっている（保水機能がある）側を上向きに、オスとメスを組み合わせて敷き並べる。風散に注意し、場合によっては都度重しを乗せていく。

⑮エコロベースシートの敷設

ラップ部と立ち上げは適度にとり、端部がめくれあがらないよう、テープ等で固定する。

⑯エコロベースソイル・スーパードッキ込み

端部に注意し、確実にエコロベースシート上に敷き込む。

